

承認	会長	書記	書記	事務局長

議事録

第5回理事会 を開催しましたのでその内容を報告致します。

平成30年12月25日

松阪市自治会連合会 事務局

日時	平成30年12月20日(木) 13:30~15:00	場所	松阪市産業振興センター3階研修ホール
参加者	小山、山本、水谷、田上、瀧本、中西、三室 朽木、池田、若山、梶間 鈴木、伊藤、大西、堀口、西村(洋)、岡田、沼田、中野、浅井、中島(秀)、岡本、刀根、 西本、豊住、坂内、榊原、境、津村、奥野、出口、野田、中島(克)、小林、武田、西川、 萩原、佐藤、福井 以上39名、 企画振興部2名、事務局2名		
<p>I. 会長挨拶 ○小山会長より挨拶。</p> <p>II. 議題</p> <p>1. 松阪市の住民自治のあり方検討会について ○市と事務局より、資料にもとづき説明 地域を一本化することについて、意見を出し合った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化活動を住協、自治会ともに行っているが、自治会活動が忙しい。 ・地域の意思決定は自治会がすべきなのに、住協へ話がいつている。 ・なぜ住協を作ったのか・・・わずらわしく思う。 ・問題ある住協はどのくらいあるのか？ 一本化うまくいく・・・半数以上 一本化うまくいかない・・・橋西、花岡、鶴 ・そもそも一本化は決定しているのだから、この質問はおかしい。 ・住協をつくったのが1番遅かった。つくる時、あたまが二つはダメということで自治会長がやることになった。住協からの交付金では不足、地域の行事ができない。人もいないから人もお金も自治会からだしている。 ・まち協はなぜ必要か？ ・一本化することによって、地域にどんなメリットがあるのか？ ・自治会費を払わなくてよくなるのでは、と考える人が出てくる。 ・交付金増やしてほしい・・・などの意見がでてている。 ・住協のことを聞くと特に若い人は分からないと答える。 ・1つを2つにして、また1つにするという。 ・住協をつくったのは行政の失敗ではないのか。市長がかわったらどうなるのか。 ・会員からお金を集めて活動している自治会は、歴史もあるため大切である。 ・住民協議会は行政が効率化を図るために作ったものだろう。 			

- ・そもそも行政が主体で住協が始まったのか？
- ・自治会は任意団体、住協は条例がある。
- ・一本化は超高齢化する中で、連合会が母体となり効率的に行える。
- ・自治会は歴史がある。市に縛られない。一本化したら縛られるのではないか。
- ・自治連の委託料はくずすべきではない。
- ・住協の副会長をしていたらチェックできるが、はいつてなければ1人歩きしていくのでは。
- ・行政が学区の整理をする必要がある。
- ・住民協議会は自治会におんぶにだっこで、自治会がなくては住民協議会はできない。
- ・一本化するのには決まっているのであれば、日程を決めて進めていくべき。やってみて修正していけばいいのでは。
- ・住民協議会は禁止事項が多い。改正してほしい。
- ・住協とうまくいっていない。住協は交付金でまつりのみやっている。
- ・住協、自治会で一本化について話し合っているが、一本化すれば、市からの仕事は住協へおとりくるが、自治会の仕事をわかっていない。
- ・一本化は反対・・・住協と自治連では、条例がある住協が上という人がいる。
- ・一本化するなら、仕事のすみわけはすべき。
- ・名前はとても大事で、住民自治協議会という名前はダメ。
- ・自治会がなくなるという不信感がある。
- ・住協とうまくいっている
- ・単なる自治会に戻すべき・・・一本化したら自治会におろすべき。
- ・住協は、自治会から送り込んでいる・・・決定する組織ではない
- ・住協の提案資料にある基本要件にあるように、地域を混乱させない。
- ・一本化はすべき

今後これらの意見をふまえ、住協との合同会議では、自治会主導で一本化にむけて話しあっていくということで終了した。

2. その他

- ・都市計画マスタープラン・立地適正化計画への意見募集について
事務局より、都市計画課からの協力依頼を代行。
- ・テロ対策松阪・多気・明和パートナーシップについて
無差別殺傷テロ対策訓練を行うので、都合がつく方は見学をお願いします（12/26）
- ・三重テレビ事業の大相撲津場所について
チラシの回覧を依頼されたことを説明→配布するかしないか、市に確認後判断する

以上